

「子どもたちに 安全で 質の良い おいしい給食を！」

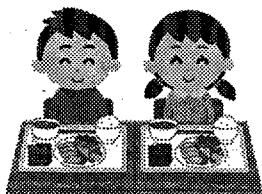
2016年11月

一宮の学校給食を考える会



自校方式による手作り給食を求める請願署名

7, 4 7 9 筆



ありがとうございました！

市民の切実な声を市議会に届けることができました。ご協力ありがとうございました。

残念ながら、経済教育委員会・本会議いずれにおいても不採択となりました。しかし、委員会審議において、賛成の彦坂和子議員のほかに「継続審議にすべき」と主張した議員が3名いたことは、注目すべき点です。

署名の重みに加え、自校給食の良さが委員の皆さんに伝わったからではないでしょうか。

給食の問題は、党派を超えて取り組むべき切実な課題です。これから何十年もわたる一宮の学校給食のありかたを決める大事な場面。

引き続き市議会への働きかけを行ってきたいと思います。

※ 請願項目

- 1、一宮地区のセンター方式を自校方式に転換し、手作りを基本とする独自献立を導入すること。
- 1、尾西・木曽川地区の自校方式を堅持し、手作りを基本とする独自献立を導入すること。
- 1、調理業務の民間委託を見直し、市による直営にすること。

※ 請願書の審査結果

紹介議員：日本共産党一宮市議団 尾関宗夫氏・橋本浩三氏

① 経済教育委員会 9月15日（木） 不採択

橋本議員が趣旨説明。全8名の委員のうち、3名の委員（一志会2、新緑風会1）が継続審査（今会期中には出さず、議論を次回に持ち越すこと）を主張。賛成は彦坂和子議員のみ。賛成少数により不採択。

② 本会議 9月26日（月） 不採択

橋本議員が賛成討論。賛成は日本共産党一宮市議団の3名。賛成少数により、不採択。





不採択で、運動は終わり？



いいえ！終わりではありません！

これからが大切な時期です。



一宮の学校給食調理場は、2か所のセンター（旧一宮市内）・各学校の調理場（尾西・木曽川地区）ともに老朽化しており、建て替えが急務です。

そのための議論が、学校給食審議会（教育委員会が指名した13名の委員で構成）を中心に昨年度から始まっています。また、市から委託を受けた民間業者が、市内のセンター・調理場の状況調査や、調理場整備にかかる全国の事例調査などを現在実施中です。

そして、早くも今年度中には、「一宮市学校給食調理場整備基本構想」が策定される見通しです。

一宮の学校給食をめぐる今後のスケジュール見通し

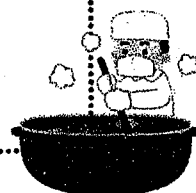
（2016年7月 児童生徒・保護者・教職員を対象にアンケートを実施）

2016年11月 アンケートの結果を公表。学校給食審議会で審議。

2016年12月～2017年1月

基本構想の案を作成。パブリックコメント実施。

2017年3月 基本構想策定



こうした動きの中で大きな問題といえるのが、議論の中に市民の意向が十分反映されていないことです。7月のアンケートでは、自校方式やセンター方式についての設問がなく、アンケート実施の目的も明示されないまま、行われました。

ほとんどの市民に何の情報提供もされないまま、13名の学校給食審議会委員と学校給食課の考えだけでこれから数十年先までの学校給食のあり方が決まってしまうことに、私たちは強い危機感を抱いています。

調理場の建て替えをめぐる議論や基本構想の中に市民の意見を反映させるため、私たちは、引き続き署名活動や学校給食審議会への意見提出などに取り組んでいきます。